



東北大学



IRIDeS  
International Research Institute  
of Disaster Science  
災害科学国際研究所



みちのく震録伝

平成 28 年 2 月 18 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所  
宮城学院女子大学  
仙台市  
多賀城市

東日本大震災アーカイブ 語り部シンポジウム  
「かたりつぎ ～朗読と音楽のタベ～」  
開催のご案内

東北大学災害科学国際研究所では、このたび、東日本大震災アーカイブ 語り部シンポジウム「かたりつぎ～朗読と音楽のタベ～」を下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムは、東北大学アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」で収集した東日本大震災の震災体験者の体験を紹介することにより、国内外への防災・減災意識の向上と震災記憶を語り継ぎ伝承をすることを目的としており、2012年3月から毎年開催し、本年で5回目の開催となります。

つきましては、広く市民の皆様にご周知いただくとともに、当日はご取材いただき、紙面、番組等で紹介いただけますよう、何卒よろしくお願いたします。なお、シンポジウム開催前には、記者会見も予定しておりますので、こちらについても、ぜひ参加いただけましたら幸いです。なお、シンポジウム、記者会見での取材をご希望の際は、3月3日（木）までに下記問い合わせ先へご連絡願います。

記

■日時：2016年3月6日（日）14：00～（13：00 開場）

場所：宮城学院女子大学 講堂（本リリース2頁目を参照願います）

【語り主（被災証言者）と竹下さんの面会】 場所：礼拝堂 時間帯：11:30～12:00  
※こちらも取材可能です。事前にお申し入れ下さい。

【記者会見】場所：礼拝堂 時間帯：12:05～12:30（11:00 受付開始）

出席： 俳 優	竹下 景子 氏
宮城学院女子大学長	平川 新 氏
東北文化学園大学教授	志賀野 桂一 氏
画 家	加川 広重 氏
証言編集	水月 りの 氏
東北大学災害科学国際研究所副所長	奥村 誠

【シンポジウム】場所：講堂 時間：14:00～16:00（13:00 受付開始） ※チラシを参照下さい

出演： 俳 優	竹下 景子 氏
バイオリン奏者	飯川 直美 氏
ピアノ奏者	高塚 美奈子 氏
司 会（落語家）	六華亭 遊花 氏
合 唱	宮城学院女子大学音楽科生
宮城学院女子大学副学長	戸野塚 厚子 氏
東北大学災害科学国際研究所准教授	柴山 明寛

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野  
担当：小野 円（技術補佐）、柴山 明寛（准教授）  
電 話 022-752-2099 メール katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

## ■かたりつぎ開催の経緯

「かたりつぎ」の企画は、神戸と仙台の人々の想いがひとつのかたちになって生まれました。

1995年1月17日、阪神淡路大震災があった翌年、神戸で「音楽」での復興支援実行委員会が立ち上げられ、1999年から俳優の竹下景子さんが出演、朗読する「竹下景子 詩の朗読と音楽」が始まりました。

東日本大震災を受けて、この企画は、アーツエイド東北に引き継がれ、2012年3月に仙台で開催。さらに、2013年3月以降、東北大学災害科学国際研究所が主催となり、現在に至ります。

神戸の「詩の朗読と音楽のタベ」では、詩を一般公募していました。東北大学災害科学国際研究所では、みちのく震録伝が収集・整理・保存した膨大な口述記録（オーラル・ヒストリー）の中から、後世へ語り継ぐ記憶・教訓を学術の観点から選び出しております。この選び出した口述記録は、ライターによって、詩のかたちに落とし込み、語り主と何度もリライトし、詩として出来上がったものです。そして、語り主、学術、文化芸術が融合し、「かたりつぎ～朗読と音楽のタベ～」として紹介されます。これらの詩は、防災減災教育としてのメッセージ、記憶風化への楔、新たに生まれる課題を取り上げ、時の経過をしっかりと受け止め伝えていくものです。

【会場までの地図】 〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

—仙台駅から—（宮城交通）

A：西口バスプール3番

「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車

B：西口バスプール2番

「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行乗車  
→「宮城学院前」下車

【所要時間：約30分・料金350円】

—地下鉄旭ヶ丘駅から—（宮城交通）

3番バス停「双葉ヶ丘入口経由宮城学院前行」乗車  
→「宮城学院前」下車

【所要時間：約10分・料金230円】

—地下鉄泉中央駅から—（仙台市営バス）

1番バス停「聖和短大」または「実沢営業所」行乗車  
→「上谷刈山添」下車 徒歩10分

【所要時間：約10分・料金250円】



<お願い>

お車でご来場の際は、台数に限りがあるためできるだけ乗り合わせてお越し下さい。



# かたりつぎ

Kataritsumagu

## 朗読と音楽の夕べ

### 東日本大震災の「語りつぐ記憶」

あれから5年が経とうとしています。悲しみを乗り越え希望が甦り始めた一方で、現在も19万人以上の人々が避難生活を余儀なくされています。あの日の記憶、そして今を生きる人々を、今年も、竹下景子さんがかたりつぎます。



竹下 景子



飯川 直美



高塚 美奈子

2016年3月6日(日)

開場 13:00 開演 14:00

会場 宮城学院女子大学 講堂

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1 TEL.022-279-1311 (代表)

アクセス お車で会場の方へ...駐車スペースには限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

- <宮城交通>
- ◆仙台駅から【所要時間：約30分・料金は350円】
  - A: 西口バスプール3番「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車。
  - B: 西口バスプール2番「宮城大学・社会保健福祉専門学校前」行乗車→「宮城学院前」下車。
  - ◆地下鉄旭ヶ丘駅から【所要時間：約10分・料金は230円】
  - 3番バス停「東山山荘地蔵由宮城学院前行」乗車→「宮城学院前」下車。
- <仙台市営バス>
- ◆地下鉄中央駅から【所要時間：バス約10分+徒歩7分・料金は250円】
  - 1番バス停「聖和短大」または「実況演習所」行乗車→「上名刈山道」下車

お帰りの際は「地下鉄旭ヶ丘駅行き」の臨時バスをご利用ください。

入場無料・要申込

全席自由 ※事前の申込みが必要となります。詳しくは裏面の申込み方法をご覧ください。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

出演 (司会) 六華亭 遊花 (落語家)

- (朗読) 竹下 景子 (俳句)
- (挨拶) 平川 新 (宮城学院女子大学長)
- (講演) 戸野塚 厚子 (宮城学院女子大学副学長)
- (報告) 柴山 明寛 (東北大学准教授)
- (演奏) 飯川 直美 (バイオリン)
- 高塚 美奈子 (ピアノ)
- (会場) 宮城学院女子大学学芸学部音楽科生



主催：東北大学災害科学国際研究所/宮城学院女子大学/かたりつぎ仙台実行委員会/復興支援コンサート実行委員会  
共催：仙台市/多賀城市/(一財)アーツエイド東北/  
後援：復興庁宮城復興局/宮城県/岩手県/福島県/石巻市/大仙市/田野畑村/南相馬市/葛尾村/多賀城市教育委員会/NHK仙台放送局/ミヤギテレビ/仙台放送/  
TBS東北放送/KHB東日本放送/河北新報社/朝日新聞仙台版/毎日新聞仙台支局/東北新聞東北版/東経新聞社東北版/FM仙台/(公財)仙台市市民文化事業団  
協賛：石巻パン工場ばーすでい/積水ハウス株式会社/凸版印刷株式会社

お問い合わせ 東北大学災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL.022-752-2099

メールアドレス Kataritsumagu@irides.tohoku.ac.jp



**朗読** 竹下 景子

名古屋出身。東京女子大学卒業。1973年NHK大河テレビ小説『波の魂』で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演のほか、2005年に日本国際演劇協会「愛・地球博」日本総経理を務めるなど幅広く活動。1999年より14年にわたり参加した阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートに、発足20年の2015年1月、3年ぶりに参加。2012年3月より東北での「朗読と音楽の夕べ」に参加。今年5回目となる。

**バイオリン** 飯川 直美

1991年仙台市生まれ。宮城学院中学校卒業。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。パリ地方音楽院に入学し審査員満場一致の最高成績で卒業と同時に、パリ国立高等音楽院に入学。2012年パリ市庁舎で行われた記者会見にて、東日本大震災の復興で作られたヴァイオリンを披露し、コンサートを行う。フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団アカデミー生。現在、パリ国立高等音楽院修士課程在学中。

**ピアノ** 高塚 美奈子

宮城学院女子大学音楽科卒業。研究科修了。これまでに野沢真弓、林勇光の各任に師事。モーツァルト音楽大学夏期講習にてハンス・ライヴグラフに指導を受ける。第9回日本ピアノコンクール全国大会特別賞。現在、宮城学院女子大学、東北文化学園大学、石巻専修大学、仙台幼児保育専門学校各非常勤講師。尚絅音楽教室講師。(社)日本演奏連盟会員。(社)全日本ピアノ指導者協会 (PTNA) 正会員。

**司会** 六華亭 遊花

三遊亭遊三門下。落語芸術協会仙台事務所所属。平成24年4月落語家としてデビュー。平号は「麗兵衛に負けず、東北六郷華ひらく」の意味。古典落語、尺巻をベースにした東北弁の落語家は人情に溢れ、青森落語会などで人気を博している。宮城学院女子大学日本文学科卒。

**合唱** 宮城学院女子大学学芸学部音楽科

音楽科を代表して、当日は学生・研究生からなる合唱団が出演します。普段の授業を通して練習上げた響きを、ぜひお楽しみください！

**特別講演** 『宮城学院の震災後の取り組み紹介』

宮城学院女子大学副学長 戸野塚 厚子



宮城学院女子大学学芸学部教授(2016年度より教育学部教授)、教育学博士(筑波大学)、筑波大学文部技官・助手を経て1993年に本学に就任。養護教諭、小学校教諭を目指す学生、大学院生の授業を担当している。主要著作『スウェーデンの義務教育における「共生」のカリキュラム - Semievad の理念と展開 -』(草創舎、明石書店、2014年)、『スウェーデンの共生のための義務教育課程に関する研究』(草書『カリキュラム研究』15,2009年)等。

**報告** 「みちのく震録伝の取り組み」

しばやま あきひろ 柴山 明寛 (東北大学准教授)

**写真展** 加川 広重

宮城県産王町出身。武蔵野美術大学油絵科卒業。賛賞を巨大大絵画で表現し投入していく活動を行っている。2013年より被災地を繋ぐプロジェクト「加川広重巨大大絵画が繋ぐ東北と神戸」をデザインクリエイティブセンター神戸にて3度開催。平成24年度宮城県芸術選奨新人賞。

**証言編集** 水月 りの**演 出** 志賀野 桂一**舞台監督** 白津 守康

竹下景子さんは、阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートで、詩の朗読を続けてこられました。東日本大震災を受け、この催事は東北に引き継がれ、今回が5回目の開催となります。東北大学災害科学国際研究所の「みちのく震録伝」が集めた被災者の思いを、竹下景子さんが詩のメッセージとして朗読します。

今年もステージには、加川広重さんの東日本大震災巨大大絵画を設置します。タイトルは「フクシマ」。(作品サイズ:5m40cm×18m50cm/2013年) ロビーでは様々な復興への取り組みも展示いたします。

東北大学災害科学国際研究所では、3・11記念事業として震災の「かたりつぎ」を継続し、防災・減災教育として大切なメッセージを伝えつつ、明日を生きる勇気や希望を感じられる事業にしていきたいと考えております。

**応募方法** 締切/2016年2月20日(土) 印刷有効**往復ハガキ**

往復はがきの住信面の裏に  
①入場希望者名、②郵便番号、  
③ご住所、④電話番号を  
ご記入のうえ、お申し込み下さい。  
※はがき1枚につき  
1名の入場が可能

〒 7980-8799  仙台中央郵便局留 「かたりつぎ」係	この欄は 記入不要です。
---	-----------------

往信(おもて)

返信(うら)

〒  あなたのご住所  あなたのお名前 様	①入場希望者氏名 ②郵便番号 ③ご住所 ④電話番号
-----------------------------------	------------------------------------

返信(おもて)

往信(うら)

**メール申込み****メールアドレス**[katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp](mailto:katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp)

上記のメールアドレスへ①イベント名、希望人数②住所③氏名④電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。

**往復ハガキ・メールでの申込みが難しい場合****FAX申込み****FAX.022-752-2100**

※できるだけ上記の方法にご協力ください。